

栗原市立図書館の前身は、平成10年に宮城県内10番目の町立図書館として開館した「築館町立図書館」であり、平成17年4月の栗原郡10町村合併により「栗原市立図書館」と名称を変更して開館しました。

図書館前の広場は、地域市民の公園としての役割を果たしており、昼には「滝のあるジャブジャブ池」に子どもたちが集まり、夜には通路に描かれている星座が光り出し、大変幻想的な散策路となります。

人口8万人の市立図書館としては少し規模が小さいのですが、9ヶ所の公民館図書室と連携しながら、現在6名の職員と3名の臨時図書館司書で「市民に愛される市立図書館」をめざし、フル回転をしながら、図書館事業に当たっています。

主な事業としては、毎週土曜日の「おはなし会」や子育て支援センターでの「出前おはなし会」「学級文庫配本」などです。また、宮城県内一の広大な面積のため、移動図書館車「ぶっくる号」により、地区公民館や小学校など17ヶ所を巡回しています。効を奏して貸出冊数は、合併前の7割増です。今後は、市民平等のサービスを考慮し、各公民館図書室と図書館のネットワーク化を早期に実現し、図書館の蔵書検索ができ、また予約ができるようにしたいと考えております。

また、図書館に隣接して、我が国の代表的な民衆詩派詩人である白鳥省吾記念館があり、詩や文学に関心のある国内外の方々が見えられます。

この施設についても図書館が併せて運営しております。

図書館が市民の皆さんにとって、ゆったりとくつろげる、生涯学習の拠点施設となるよう、職員一同毎日仕事に励んでおります。



栗原市立図書館

- 蔵書冊数：89,482冊(平成18年度末)
- 貸出冊数：170,660冊(平成18年度実績)
- 開館時間：火～金曜日 10:00～18:00
土・日 9:00～17:00

- 休館日：毎週月曜日
祝日(祝日が月曜日の場合はその翌日)
12月29日から1月3日までの年末年始
特別整理期間(2月中旬)

住所：〒987-2252
栗原市築館築師三丁目3番1号
TEL:0228-21-1403 FAX:0228-21-1404
ホームページ: <http://www.kuriharacity.jp>
(栗原市のHPからアクセス)
メールアドレス: tosyokan@kuriharacity.jp

- 交通：東北自動車道築館インターチェンジから車で約5分
JRバス築館駅から徒歩約1分
東北新幹線「くりこま高原駅」から車で約10分

わたしのこの一冊
My Favorite Book

『世界の路地裏 100』 ピエ・ブックス 2005年

人々の暮らし、生き方に思いを馳せて

仙台市 久世 みどり

この本と出会ったのは最近のこと。ガイドブックや写真集は数多く出版されている中、「路地裏 100」にふと目が止まった。ページをめくって見た。狭い小路の入り口、車が入れないほど細く曲がりくねっている。建物と建物との急勾配の石畳の坂道や階段、限りなく澄みきった青い空と暮さを避ける為の白い壁。時折、海岸からの風で洗濯物がたなびいている。窓辺には赤やピンクのゼラニウムが彩りを添えている。道の奥から子供たちの歓声…たぶんパーティで、サッカーで遊んでいるのだろうか。

ここは閑静な裏通り、夜になるとガス灯が灯り、霧雨で石畳が暗色を帯びている。その先は行き止まりか、それとも異空間なのか空想が膨らみ、つい

錯覚に陥る。

以前、訪れた国を思い起こした。寺院の立つ丘から緩やかな小道を下ってくると広場があった。プラタナス並木の側のカフェで若者たちが話し込んでいたり、行き交う人々を眺めながら時を過ごしている老夫婦がいた。それが何故か心に残っている。

通りから一歩小路に足を踏み入ると、中世を漂わせる情景だ。切り妻屋根の木の梁組みが美しい家並み。屋根の下の凝ったデザインの看板。工芸品やアンティークの店、マリオンネットや奇抜な仮面を売る店が並び、楽しい雰囲気を作っている。

路地裏——地域によってさまざまだが、そこで生活している人々の生き方や暮らし、思いが伝わってくるような一冊である。また、旅をする機会があったら、視点を変えてゆっくと楽しみながら歩いてみたいと思う。

図書館からのお知らせ INFORMATION

企画展「アヒルと左吾平～スクリーンの中の宮城のすがた」を開催します

宮城県は豊富な自然や歴史・文化遺産などのすぐれたロケーションに恵まれ、映画やドラマなど数多くの映像制作の撮影場所として利用されてきました。映像資料やその原作、また映画の制作風景などから、スクリーンに刻まれてきたふるさと宮城の魅力を再発見するものです。

- 期間 平成19年8月4日(土)から10月4日(木)まで
(図書館開館日の午前9時30分から午後5時まで)
- 場所 展示室(2階) ●入場は無料です。
- 問い合わせ 企画協力班(1階) 電話 022-377-8444

平成19年度みやぎ県民大学「叡智の杜を訪ねて」を開催します

本館職員を講師として、宮城ゆかりの人物やその背景、貴重書を中心とした所蔵資料等を紹介します。

- 日時 平成19年9月1日から10月20日までの毎週土曜日
午後1時30分から午後3時まで
- 場所 ホール養賢堂(2階)
- 定員 50名(18歳以上の県民 先着順) ●受講料 無料
- 問い合わせ・申込み 企画協力班(1階)
電話 022-377-8444 FAX 022-377-8484

表紙エッセイ／高橋克彦さん



たかはし・かつひこ 作家。1947年岩手県盛岡市生まれ。早稲田大学卒業。83年『写楽殺人事件』(江戸川乱歩賞)でデビュー。86年『総門谷』で吉川英治文学新人賞、87年『北斎殺人事件』で日本推理作家協会賞、92年『緋い記憶』で直木賞、2000年『火怨』で吉川英治文学賞を受賞。NHK大河ドラマでは、93年『炎立つ』、01年『北条時宗』を原作。作品の多くで東北の古代を舞台とするなど、東北の文化と歴史の再評価に力を注いでいる。盛岡市在住。

ことばのうみ

題字 作家 高田 宏氏

本誌タイトル「ことばのうみ」は、本館第8代館長・大槻文彦編著による日本最初の近代的国語辞典『言海(げんかい)』(1889～1891年刊行)に由来する。

第25号 2007年7月発行

編集・発行
宮城県図書館

〒981-3205
仙台市泉区紫山一丁目1番地1
TEL022-377-8441 (代表)
FAX022-377-8484
ホームページ
<http://www.pref.miyagi.jp/library/>

デザイン/印刷 仙台共同印刷